

<b>学校名</b>	川越市立名細中学校
<b>所在地</b>	川越市小堤14
<b>電話</b>	049-231-2213

## 1 本校の概要

本校は、鶴ヶ島市と坂戸市と学区を接しており、緑豊かな場所に位置している。平成28年度で開校70周年を迎え、歴史のある学校である。また、地域の行事に生徒が積極的に参加する、地域に根ざした学校と言える。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

進んで読書に取り組み、読書を楽しむ生徒の育成

### (2) 実践の概要

図書を生徒の身近に置く環境をつくり、いつでも読書活動ができるように努める。

#### ア 学級文庫の設置

各学級に10冊程度の図書を置き「学級文庫」として活用している。図書委員が管理をし、一定の期間が過ぎたら、他学級の「学級文庫」と交換し、できるだけ多くの図書に触れることができるようにしている。

#### イ ブックトークの実施

本校では、ここ10年以上にわたって、JPIC読書アドバイザーによるブックトークを実施している。今年度は、1学期に3年生、2学期に2年生、1年生に行っていた。それぞれテーマが決められており、そのテーマに沿った本を、生徒の興味を引きつけながら、紹介して下さるので、とても好評である。また、そこで紹介された本を学校図書館に用意することで、ブックトークが終了後の貸し出し時間には、ほとんどの本が貸し出されているような状態である。

生徒達は、小学校で「読み聞かせ」を経験しているが、「ブックトーク」は、初めての体験であり、非常に新鮮な体験となっている。2・3年生にとっては、前年度の楽しい経験から、楽しみにしている生徒は多い。

#### ウ 図書整理員との連携

本校の図書整理員は、週に2～3日来校し、図書館の壁面掲示や、その時季に応じた本の陳列等を行っている。また、映画のノベライズから本格的な図書まで、多岐に渡る分類の図書を購入により、生徒のニーズに沿った図書が多く所蔵されている。また、委員会活動にも参加し、専門的な視点からの提案や意見を発信し、名細中の学校図書館を支えている。



#### エ 図書委員会の活動

図書館の開館時の図書の貸し出しや図書館の管理等のほか、季節に合わせたテーマや、教員のお勧め図書の紹介などを掲載した「図書館だより」を定期的に発行して、生徒の図書へのリテラシーを高めるようにしている。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 様々な角度から生徒が図書に触れる機会を作る中で、読書という活動が生徒にとって身近なものとなりつつある。本を借りたり、読書したりするために、図書館に足を運ぶ生徒も多い。

イ 図書館は、たいへん居心地が良く、生徒たちがほっとして読書できる空間となっている。その中でゆったりとした空間の中で、読書をして時間を過ごす生徒も多い。読書への親しみがあまりない生徒にとっても、思わず本を手にとって読みたくなるような場所であり、学校図書館は、名細中生徒にとって大事な空間ではないかと考える。

### (2) 課題

これらの取組はどの学校でも、多少の差異はあるものの、多く実践されていることも多い。本校独自の取組をさらに増やしていきたい。

### (3) おわりに

こうやって、改めて活動を振り返ってみると、まだまだ実践できることが多いと感じる。今後も、生徒の読書活動のさらなる向上を目指して工夫していきたい。